

令和元年度(2019年度)

管理事業名	自主防災推進事業				総合計画の体系	大綱 2 防災・防犯 政策 1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり 施策 2 防災力・減災力の向上
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 9	消防費	(項) 1	消防費	(目) 4 災害対策費
部局名	総務部	予算執行所屬	危機管理室			
予算大事業名	自主防災推進事業					
自主防災推進事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 市民一人ひとりの自主的な防災活動の支援・充実を求め、防災意識の高揚、自主防災体制の整備など、地域防災力・減災力の向上を図ります。 【主な事業】 防災知識の普及啓発 防災ハンドブック等の配布や、地域に向いて講座をするなど、防災に関する知識の普及を図り、市民の防災意識の高揚に努めます 自主防災組織の育成 地域住民による自主防災組織が自発的に行う救助活動に必要な資機材等の支援や、地域防災リーダーを育成する講習会の実施						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
防災講座の参加者数	人	3,576	3,838	2,027	防災講座の参加者数(避難所運営を模擬体験できるHUGゲームや災害想定訓練が体験できるDIG訓練の参加者数を含む)
地域防災リーダー育成数	人	214	255	283	地域防災リーダー育成講習終了者数(延べ人数)
成果の説明	令和元年度は昨年度と同様に、日本各地で台風や大雨等の自然災害による被害があったことや、防災ブック及びハザードマップを全戸配付したこと、市民の防災に対する意識の向上もあり、イベントや講座の依頼件数が多くなりました。2月頃から、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、講座の開催等を控えていますが、今後も関係所管と連携し、市報、ホームページ等で本市の防災の取組の周知・啓発を進め、市民の防災意識の向上を図ります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	112	112
府支出金(経常費用充当)	-	-	56	56
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	168	168
給与関係費	-	-	-	-
物件費	-	-	64,719	64,719
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	664	664
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	-	-
退職手当引当金繰入額	-	-	-	-
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	65,383	65,383
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△65,215	△65,215
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△65,215	△65,215
一般財源充当額	-	-	65,215	65,215
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	-	-

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金 府支出金	点字用の防災ブック作成に伴う地域生活支援事業費補助金112,000円(国庫支出金)56,000円(府支出金)
物件費	防災ブック作成委託業務2,976,253円、ハザードマップ原稿データ作成委託業務7,560,000円、防災ブック等配付・啓発委託業務53,186,914円
負担金・補助金・交付金等	吹田市医師会に対する災害時救急医療器具等整備事業等補助金602,000円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	168	168
行政サービス活動支出	-	-	65,383	65,383
行政サービス活動収支差額	-	-	△65,215	△65,215
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△65,215	△65,215
一般財源充当額	-	-	65,215	65,215
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 点字用の防災ブック作成に伴う地域生活支援事業費補助金168,000円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	-	円	令和2年3月31日現在の吹田市人口で算出すると、市民1人あたり175円のコストがかかっています。
	平成30年度	-	円	
	令和元年度	373,978人	175円	
	平成29年度	-	円	
	平成30年度	-	円	
	令和元年度	-	円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	-	-
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	純資産	-	-	-
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-	純資産の部合計	-	-	-
				負債及び純資産の部合計	-	-	-

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

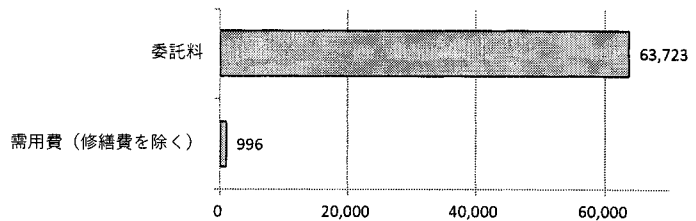
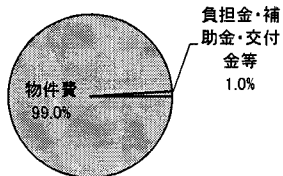
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	月平均	年間従事証日数	実人数	
給与関係費等	人	人	人	日	人	0
内、時間外勤務手当	0					

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	99.7	99.7

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】
令和元年度は、防災ブック及びハザードマップの全戸配付、それに伴う啓発事業を実施したため、物件費が経常費用の99%を占め、そのうち委託料は98%となりました。
なお、総合計画の体系に沿って事業単位の再編を行ったため各表の過年度の数字については表示されません。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

防災・減災には、自分の身を自分の努力によって守る「自助」と地域や近隣の人々が協力しあう「共助」が重要であり、令和元年度には、幅広い年代の人が防災のことを知り、考え、行動することにつながることを目的とした防災ブック等を全戸・全事業所へ配付しました。また、自主防災組織への支援を充実し、先進的な取り組みについて地域間での情報共有ができるよう情報交換会を開催しました。
防災ブック等の配付に係る経費等は委託料として算出されていますが、出前講座や地域の訓練への参加、自主防災組織間の情報交換会の開催など、地域防災力の向上を図る事業の中には経費として算出が難しい事業が多くあります。